

科目名	言語発達障害学Ⅲ			授業の種類	演習	講師名
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 2年 通年
【授業の目的・ねらい】 言語聴覚士として必要な知識である言語発達障害の特性を知り、臨床の場において行う評価・診断を繰り返し行うことにより、基本的な知識と技術を身につける						
【実務者経験】 言語聴覚士としてこども発達サポートセンター、野間こどもクリニックなどに勤務。発達障害児の言語聴覚療法に従事経験。						
【授業全体の内容の概要】 S-S言語発達遅滞検査・FOSCOM・質問応答関係検査・絵画語い発達検査PVT-R・読み書き検査（STRAW-R、Reading-Test）について講義および検査演習を行う						
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 上記各検査の内容を理解し、教員の指定した主要な検査項目について実施することができる						
回数	講義内容					準備物(教材)
16	FOSCOM DVD視聴および講義により、コミュニケーション評価時のポイントを理解できる					DVD・PC
17	S-S言語発達遅滞検査① 検査の概要について理解することができる					S-S道具・DVD
18	S-S言語発達遅滞検査② 実施手順・検査教具を知り、教示方法について理解できる					S-S道具
19	S-S言語発達遅滞検査③ サマリー記入方法・判定基準について理解できる					S-S道具
20	PVT-R・質問応答関係検査の概要について理解することができる					PVT-R・質問応答関係検査
21	読み書き系検査の概要について理解することができる					STRAW-R、Reading Test
22	LCSA学齢版言語・コミュニケーション発達スケールについて理解することができる					LCSA
23	日本版KABC-IIについて理解することができる①					日本版KABC-II
24	日本版KABC-IIについて理解することができる②					日本版KABC-II
25	日本版KABC-IIについて理解することができる③					日本版KABC-II
26	遠城寺式乳幼児分析的発達診断検査、KIDS乳幼児発達スケールについて理解することができる					遠城寺式乳幼児分析的発達診断検査、KIDS乳幼児発達スケール
27	田中ビネー知能検査Ⅴ、障がいの重い児（者）が求めるムブメントプログラムについて理解することができる					田中ビネー知能検査Ⅴ、障がいの重い児（者）が求めるムブメントプログラム
28	新日本版トクテスト（TT）について理解することができる					新日本版トクテスト（TT）
29	検査演習総復習。苦手な検査を理解できる①					該当検査道具
30	検査演習総復習。苦手な検査を理解できる①					該当検査道具
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料。各検査道具。						
【準備学習・時間外学習】 授業内で学んだ知識やスキルの復習ならびに、普段の授業・生活においての実践をお願いします。						
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。						